

ごんきや「終活カウンセラー」遠藤清子の

生き活きと

終活教室

終活カウンセラー 遠藤清子

七ヶ浜に嫁いできて、ごんきやに入社。以来21年、家族に寄り添うことを大切に、葬儀の仕事に従事。大震災を経て、皆様には後悔してほしくないとの終活への想いを深め、セミナーにも心を注いでいる。



第9回 テーマ

自然葬、宇宙葬、近年の埋葬事情

—それは、どういうことですか。

遠藤 遺された身内の方が、どこに、何にお参りしたらいいのかと、惑われてしまったり、後々もめる要因になることもあるんです。

加賀 散骨する際、遺骨の一部を墓に納骨したり、手元供養として遺すという方法もあります。ペンダントに入れたり、指輪にされたりする方もいらっしゃると思います。

今では遺灰をロケットにのせる宇宙葬まである時代。埋葬も選べる時代に変わってきました。これからも変わっていくでしょうが、本質的なところは、

世の中の変化の目まぐるしさは、埋葬の事情にもあらわれています。墓地がない？宇宙葬！
今回は「埋葬」について、事業部長の加賀秀幸さんと終活カウンセラー遠藤さんのお話です。

—最近の埋葬を取り巻く状況について、教えてください。

加賀 墓地はお寺にあるのが一般的でしたが、近年は塩釜なら月見ヶ丘霊園墓地、仙台は葛岡墓園といった公営の大規模な墓地ができ、それも充分な空きがなくなってきたのと、親と子が離れ

て暮らしているため、お墓の跡継ぎがないということ、合葬という埋葬様式も生まれています。

遠藤 墓地が必要ないという意味では、自然葬の散骨という新しい様式も需要が増えましたね。

加賀 弊社でも松島湾沖での海洋散骨や、蔵王ではバルーンの中にパウダー状にしたお骨をお入れして空にとばすというバルーン葬などをお手伝いさせていただいています。それぞれ海が好きだった方、山が好きだった方が主に希望されます。先日行った蔵王でのバルーン葬は、遺言により、北海道の墓地からご

家族の遺骨を持ってきて、3人の散骨を行うというものでした。

遠藤 墓じまいを成し遂げてしまおうというお気持ちだったのでしょうか。

「わたしたちが亡くなったら、お墓参りも大変になるから」と自分たちの代で墓じまいして、散骨してしまう、というお話を聞きますから。

加賀 この自然葬の散骨は、「NPO葬送の自由をすすめる会」から始まったもののようなです。

遠藤 たしかに、自由に故人の希望が尊重される様式です。ただ、この自由が自由でなくなる場合もありますね。

見送る者が故人への敬意を持って心で見送る、心で供養するということが、

先日執り行ったバルーン葬では感動で涙する人、いつてらっしゃい！と手を振る人もいて、近所の方々も皆さん見送りにいらしてました。

家族で早くから話し合っておくのが、こうした心に残る葬送につながっていると思います。

—ありがとうございます。

◎次号予告

いつも一緒にいたいから！手元供養！

ごんきや事業部長で1級葬祭ディレクターの加賀秀幸さんと、終活カウンセラー遠藤さん



終活セミナーのご案内

日時：9月25日(日)午前10時より

場所：セレモニア五橋榎会館

仙台市青葉区五橋2-8-14

日時：10月30日(日)午前10時より

場所：セレモニア岩切利府榎会館

仙台市宮城野区岩切分台3-14-1

セミナーに関するお問い合わせ

(株)ごんきや多賀城支店 TEL.022-366-5151(遠藤)

※終活セミナーはお一人様でもグループ様でもお申込みいただけます。
出張開催もしておりますので、お気軽にお問合せください。



1815年創業
葬祭・仏壇・仏具・神具・生花・花壇・墓石
株式会社 **ごんきや**®

塩釜本社：〒985-0043 宮城県塩釜市袖野田町24-2
仙台本社：〒980-0022 宮城県仙台市青葉区五橋2-8-14

☎ 0120-365-554